



講習会「みんなで音読 音読教室に挑戦！」

1 目的

音読教室とは皆で集まって昔話や詩などを読む会のことをいう。様々なテキストを皆と声に出して読むことは、脳の活性化、新たな読書体験、音読を通じた交流にもつながり、現在各地の公民館や図書館、高齢者施設等における音読の教室や講座が広がりつつある。この音読教室の考え方、教室の運営方法等について学ぶ。

2 対象

公共図書館職員・公民館図書室職員・公民館担当職員・社会福祉協議会職員・福祉関係者等

3 定員 100名

4 日時 平成30年8月27日(月) 午前10時30分から午後3時25分まで (受付 午前10時～)

5 主催 宮崎県教育委員会

6 共催 宮崎県公共図書館連絡協議会

7 会場 県立図書館2階 研修ホール

8 講師 鳥取県立図書館 郷土資料課長 中尾 有希子

※ 鳥取県立図書館音読教室担当者。鳥取県立図書館では、自館でモデル的に音読教室を実施しながら、その経験を生かし、市町村の図書館等への普及のため、音読教室実施についてのアドバイスや研修、指導者の養成を行っている。

9 内容

10:00～10:30 受付

10:30～10:40 開会行事

10:40～11:10 事例発表 高齢者向けサービス等の事例紹介

(県内図書館等2事例程度)

11:10～12:00 講義 「音読教室とは」

<休憩>

13:00～14:00 ワークショップ 「体験！音読」

14:00～14:15 休息

14:15～14:55 講義 「音読教室の運営ポイント」

14:55～15:15 質疑応答

15:15～15:25 閉会行事

15:30～16:10 交流会(※任意)